

部長挨拶

早稲田大学バドミントン部部长 加藤 勇



今年は早慶戦第50回の大きな節目の大会です。すなわち、バドミントン部創立の50周年記念の年となります。11月には記念祝賀会がOBの皆様のご尽力により執り行われます。選手諸君には、戦績をあげ大いに盛り上がりを作ってください。

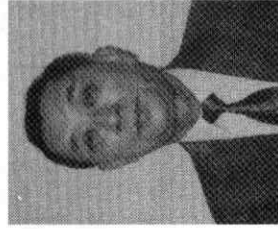
さて、慶応大学のバドミントン部は創立60周年であり、お祝いに行って参りました。戦時中、当初はYMCAで練習をしていたそうです。

早稲田大学のバドミントン部の創立は1952年です。戦後間もない廃墟の中から立ち上がったといてもいい時代です。その後、バドミントンは手軽さから一般人に受けいれられ、子供から大人まで結構なブームともなったものです。

今日、多様化の時代にもれず体育会の部もふえてきました。早稲田大学もスポーツ振興には力を入れてきております。社会的にみても、益々スポーツが発展し人々の健康維持にも寄与していかなくてはならないでしょう。我々のバドミントン部においても益々多くの素晴らしい選手を育てて、社会に貢献していかなくてはなりません。選手諸君においては大いに練習、鍛錬しバドミントンを楽しみ、素晴らしい競技生活を送ってほしいと考えます。

会長挨拶

早稲田大学バドミントンクラブ会長 菊地利明



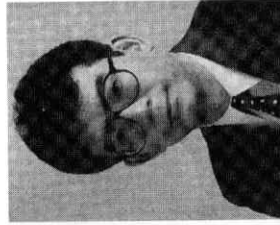
平成14年この早慶定期戦も50回目になるが、今回先ず慶応バドミントン部創部60年のお祝と、それにお招き頂いた御礼を申し上げたいとおもいます。さて、秋のリーグ戦もこの定期戦が終了すると間もなくやって参りますが、毎年の事ながら、両校共この定期戦をステップとして大いに頑張ってもらいたいと思います。

我が部が誕生してからの年齢は、この定期戦の回数と同じであるとは何かお知らせして参りましたが、本年11月にさきやかですがお祝をささせて頂く準備をしております。

さて、今この記念すべき50回大会を機に今まで以上に両校のOB・OGの皆さんは旧交を温め合い大いに楽しんでほしい、現役諸君は秋のシーズンの開幕試合として、全力を出し切った若々しい元気ある試合を展開してもらいたいと思います。両校の健闘を祈り、素晴らしい試合を期待します。

部長挨拶

慶應義塾体育会バドミントン部部长 高宮利行



慶早バドミントン定期戦が首尾よく50周年を迎えましたこと、まことに喜ばしく、心よりお祝い申し上げます。

先日、慶應バドミントン部が創部60周年を祝った時には、早稲田の加藤部長先生やOBの代表の方々がわざわざお祝いに三田まではせ参じてくださいました。また聞くところによれば、早稲田のバドミントン部は今秋創部50周年を迎える由、これまた祝賀にたえません。

中国や日本では人生60年を還暦と呼んでお祝いますが、イギリスに行くとき50歳を人生の区切りの年と考えてお祝いする習慣があります。わたしがたまたま50歳を迎えたのがイギリス留学中で、友人たちがお祝いしてくれて、そのことを知ったのです。いずれにせよ、50も60もおめでたい年であり、ことと早慶バドミントンに関して今年も三つも重なったというわけですね。

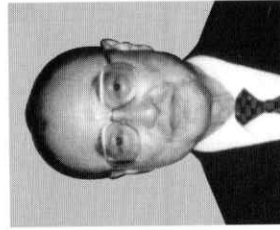
記録によれば、慶應が第2次大戦の中でバドミントンを始めたのに対して、早稲田は50年前、つまり戦後になって始めたために、このたび慶早戦50周年を迎えることになったわけですね。戦績を見ますと、最初のころは慶應が勝ちつづけていたのが、次第に早稲田が追いついて、立場が逆転したことが分かります。

この原稿を書いている段階で、ワールド・カップ・サッカーはベスト4が決定しています。戦前の予想に反して、多くのヨーロッパや南米の強豪姿を消し、替わってアフリカや韓国、さらに日本までが感動的なプレーを見せてくれました。勝利の女神は強いチームに微笑むのだと思うと、どうもそうでもなさそうです。スタミナをなくさず。勝利への執念に燃えたチームが勝ちあがってきたように思えます。

この体力と執念は、スポーツだけでなく、社会で成功するあらゆる秘訣にまさる要素ではないでしょうか。毎日仕事そっちのけでテレビの前に釘付けにさせられて、学んだのはそのことでした。同じことはこの慶早定期戦で戦う選手にも当てはまることでしょう。練習によって鍛えた体力と技を、執念を忘れずに、思いきり試合にぶつけることを期待しています。

最後に、この定期戦の成功のためにご準備くださった、両校OB・現役のみならず関係者各位に、ここから感謝の意を表したいと思います。

会長挨拶



三田バドミントンクラブ会長 吉田格庵

昭和28年第一回早慶定期戦が始まり、今年で50周年になる記念すべき定期戦となります。多くの先輩、学校関係者のご指導ご後援を賜り今日に至っており、この伝統ある早慶定期戦50周年大会を迎えました事は誠に慶賀にたえません。

私自信も昭和28年入部し、早慶定期戦と併にバドミントン部の一員となりました。前半10年間は無敗でありましたが、その後我部は苦戦の連続でありましたが、しかし、その時代の時代でそれぞれの選手が頑張っ頂いて頂きました。今年こそ夏期合宿の練習の成果を発揮して頑張っ頂きたい。そして、稲門バドミントンクラブと三田バドミントンクラブとの交流を一層親密にし、今後もバドミントン界発展の為に両校が先頭に立って頑張っ頂ければと思います。

今年も早慶両校の現役、OBが一同に会して競い合う早慶戦がやってきました。この伝統ある定期戦も今回で第50回をむかえることになりました。私が監督として初めて戦ったのが第40回からであり、またこの記念の大会に監督として戦えることに感謝するとともに大変光栄であり嬉しく思います。

今年我が部は関東学生春季リーグ戦において男子は優勝をめぐざして臨みましたが、4位という不本意な成績に終わりました。女子においては昨秋に念願の1部入りし、手探りのなか5位という結果は大健闘と思っております。秋のシーズンへむけて男女とも、優勝を目標にさらにレベルアップを目指し、練習に励んでいきます。

この節目の大事な定期戦に今年も全員で一丸となり慶応に臨み、是非勝利をものにしたいと思います。しかし、いつも独特の雰囲気の中で行われる早慶戦は過去いくつもの名勝負が実力を超越したところで勝敗がついて来ました。選手諸君には今年も気合い負けせず、日頃の練習の成果を充分に発揮し早稲田らしく悔いのないプレイを見せてほしいと思います。特に三上、加藤、梅本、鈴木には学生最後の定期戦として、良き思い出となるよう全力をつくして必ず勝利してもらいたい。そして男女とも秋のシーズンへ勢いをつけて臨みたいと思います。

最後に、今年も慶応の現役、OB諸氏と共により良い試合を展開し、より両校の友好が深まり、60回、70回と発展していくことを望みます。

WASEDA KEIO

祝 早慶定期戦

各種記念ペナント調製

マーク・ワッペン・旗・腕章

オギワラ

〒160 東京都新宿区西早稲田1-8-24

早大東門前大隈通り

TEL 03 (3202) 7 8 4 6

FAX 03 (5273) 8 2 8 5

第50回を迎える早慶バドミントン定期戦開催に際し、心よりお慶び申し上げます。50年の歴史に新たな1ページを加えるにあたり、現役諸君の奮起を期待する気持でいっばい입니다。

対戦する早稲田大学は、関東大学リーグで、男子も女子も1部で強豪相手にめざましい活躍をしています。一方、当部は男女とも同リーグ3部に留まり、2部・1部への道のりは、厳しいものとなっています。この現状を打破すべく、有力選手の獲得、日頃厳しい練習による個人の実力アップを課題に取り組んでいきます。

学生諸君には、日本や世界のトッププレーを意識して、更に高度な技術・体力を得るよう、努力していただきたいと思います。

早慶戦では、この50年の間、多くの名勝負が繰り広げられました。勝ち負けだけでなく、それを超える大きな感動をいつも私たちにも与えてくれます。伝統あるこの絶好の機会に、現役諸君の日頃の練習成果を十分に発揮した元気でスピードのあるプレーを期待するとともに、OBの方々の変わらぬ若々しいプレーを拜見できることを楽しみにしています。

最後に、早慶両校バドミントン部の更なる発展と、両校の友好が更に深まることを祈念いたします。

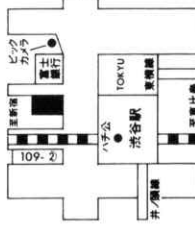
KEIO WASEDA

バドミントンプロショップ ウェンブレー

学芸大学
03-3716-2626
目黒区鷹番3-3-4



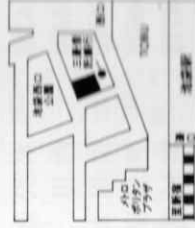
渋谷店
03-3409-6622
渋谷区渋谷1-25-6
第二石栄ビル4F



藤沢店
0466-26-7272
藤沢市南藤沢21-6
サンアラザ藤沢ビル7F



池袋店
03-5952-7070
豊島区西池袋1-14-3
INビル3F



佐倉和明

第50回早慶バドミントン定期戦が開催されることお慶び申し上げます。加えて、本年は慶応義塾大学体育会バドミントン部の創部60周年、早稲田大学バドミントン部創部50周年の節目の年でありそうです。第50回の早慶戦が盛大に行われることを祈念しております。

早慶戦と自分との係りについて考えてみました。現役時代良かったが、卒業後のOB戦は引き分けたことは有っても勝ったことは確か無い。4年生は第18回大会（昭和45年）で主務として運営した。第18回大会は大きな記録のでた大会、記録15対0でした。

現役4年間に参加できた関東リーグ、インカレも良い思い出ではあったが、やはり早慶戦は勝負+アルファがあった楽しい交流をさせてもらったと感じています。学生時代は自分を真中にして前後3代の先輩・後輩と同じ釜の飯を食うわけですが、早慶のバドミントン部の人間はそれに加えて早慶お互いの学校の先輩・後輩と同じ釜の飯を食っていることになる、(これが早慶戦の意義だと勝手に思っています)他の大学の人たちとは悟の人間と交流して卒業します、更には離れた先輩・後輩までも、これは大きな財産であろうと思います。学生時代の大きな財産作りに今後もこの早慶バドミントン大会が重要な役割を担うことを信じて期待しております。

最後に全く個人の希望を書いております。第80回大会くらいで検証できれば大変めでたいと一人で思い描いています。

50回の記録の中で、兄弟、後に夫婦になられた方々の出場はありますが、親子での出場は私と慶応の現役の千絵との一組であらうかと思いますが、中学で始めたバドミントンを高校、大学で続けられてくれている同好の士として大変うれしく思っています。大学進学を控えて大学でもバドミントンををやりたいといつたときは、早稲田にと思いましたが親の心子知らず、知っただけでも無視されたやうです。入学後は、何とか選手層に助けられられて試合にも出させてもらっており、それなりに貢献している(団体戦を成立させている)のを見て楽しんでおります。

更に欲望は広がり、今は三代目と一緒に早慶戦に参加できなかと考えている。

80歳で可能か、固りは大迷惑か……とありえず来年も元気で早慶戦に参加しよう。

WASEDA

早慶戦
に
寄
せて

KEIO

田中克典

第50回早慶バドミントン定期戦の開催にあたり、心より御祝申し上げます。

早いもので私が大学を卒業してから5ヶ月が過ぎ、社会人としての仕事に日々追われ、学生生活を懐かしむ余裕もなく過ごしてきましたが、今回早慶戦にあたっての原稿依頼を受けまして、久しぶりに大学時代の楽しい思い出に浸っているところです。

早慶戦でまず思い出すのがあの独特の雰囲気です。私が1年生の時、普段の試合とは違った緊迫感が会場に流れ、普段と違った先輩の表情から自然と身震いを感じたことを思い出します。校歌や応援に声を張り上げていた自分が懐かしく感じられませんが、今から思うとそれは早慶戦という歴史ある伝統を感じていたのかもしれない。早慶戦は自分が早稲田または慶応の一員であると感じる数少ない機会でもあります。今回も大いに自分が「早稲田」「慶応」の一員である、メンバーであるということを体感してもらいたいと思います。

私の一番の早慶戦での思い出は、第48回定期戦で準備委員として開催準備に携わったことです。準備委員として連絡・打ち合わせ・会計等開催準備に時間がかかりましたが、OB・OGの方々のご協力を賜り、仲間の協力もあって無事に定期戦を終える事が出来ました。この時に経験したことは、普通の学生生活では得る事の出来ない経験であり、社会人となった今も自分に自信を与えてくれるものであります。

早慶戦を現役として経験できるのはわずか4回しかありません。その4回からお互いに交流し、何か自分にとり得る財産を見つけてもらいたいと思います。

最後になりましたが、今回の定期戦開催にあたり多大なご尽力下さった主務・副務ならびに関係者各位の皆様方に厚く御礼を申し上げて、第50回早慶バドミントン定期戦の成功と両大学バドミントン部のさらなる飛躍を心よりお祈りいたします。

草場 律

早慶戦50周年おめでとうございます。早慶戦と聞くと、OBとして参加していても今では何が違いのという気がするが、それでも心の奥には何か燃えるものがある。

元々、慶應タイプで個人的に家から近いので早大学院に行こうと思っていたが、落ちてしまったのと早慶戦も負けも負けも負けも1勝4敗と早稲田にはコンプレックスがあった。

大学時代を振り返ってみると、1年の時には試合に出場できなかつたが、試合前のランニングの番付声で「早稲田を倒すぞー」と入れて盛り上げた。

2年の時は木島平の夏合宿で早慶戦出場をかけた部内のリーグで死闘を演じていた。なんとかシングルのだけ出場できたがフアイナルで負けた。

3年の時は単復とも出場したが、両方負けてしまった。その時の主将の馬場さんががっかりしていたのが今も記憶に残っている。

関東大学1部リーグ戦でも早慶で当たることがあった。その時は他大学が試合を始めているのに早慶定期戦のように巻歌を歌ったりして、盛り上げた。しかも、アクシデントもあり早慶戦に勝ち1部5位という近來では好成績が収められた。

やはり早慶戦で一番印象に残っているのは4年の時でなせか、主将でもないのに一番最後まで試合が残って、自分が負けてしまつて7-8で負けてしまつた時である。その時は会場全体が試合を見てくれて、しかも半分は応援してくれる。これで勝てばヒーローだが負けてしまった。本当に悔しくて情けなく体育館の片隅のながしにつぶつぶして泣いていたのを後ろから優しくさすってくれた人が誰かは今も判らない。

大学最後になつてくると全ての試合が最後になつてくる。それと同時に自分にはこのプレーしかないという聞き直りで迷いがなくなる。全てのものが輝きます。最後まで戦えた、バドミントンをやってみて本当に良かったという満足感が得られる。多くの現役プレーヤー一諸君に本当に追い求めてきた者だけが得られるこの感覚を味わって欲しいと願う。

KEIO

慶早戦
に
寄せて

WASEDA

金丸 敦

第50回位早慶バドミントン定期戦の開催、心よりお喜び申し上げます。

早慶戦と言えば、他の試合とは違った雰囲気の中で練り広げられる熱い試合とその試合に至るまでの内部での激しい競い合いが思い出される事と思います。私自信もそういう印象はあります。しかし、実際の体験はそうでもありませんでした。もちろん試合は全く他では味わえない緊張感のある、激しい試合となりました。しかし、それに至るまでの内部での競争はありませんでした。競争があるかに見えなかつたときも私が病気で倒れたため結局ありませんでした。その後は人数割れの年もあり、10人びつたり1年の事もあり、内部での激しい争いはありませんでした。

そういう事が、リーグ戦の成績を比べれば当たり前かた前かもしれませんが、ここ3年の本塾の大敗につながっているのかと思つた4年の時は、心密かに早慶戦に狙いを絞りました。過去の先輩方から見ればいささか緊張感を欠いて臨んでしまつた過去の3回を取り戻すべく、そしてリーグ戦に出られなくても見せ場はあるのだからという事を、何より我が部はいつかまた早稲田をこえるのだと言ふ心意気示すべく、去年の早慶戦に臨んだのです。しかし、結果を見ても内容を見て、そこまで大したものではなくどうにか見られる程度の内容でした。そして一人になったときには頬に伝ふ熱いものがありました。しばらくは泣いて悔しがるぐらいならもつと練習すればよかつたんだと思いましたが、逆に考えれば悔しくて泣くほど早慶戦にかけていたのだと今では思います。

不幸にして私は、早慶戦に対する思いもしかしかしたらバドミントンに対する思いも4年になるまで足りませんでした。最後の年には恥ずかしくない覚悟を早くからしつかりと持っていたのだき、年々少しずつの歴史を積み重ねていく現役諸君にはそういう自覚を早く思っています。そのために、まずは今年の早慶戦に近付き、いずれは追い越していただきたいと思つています。

最後に定期戦を準備されてきた両校の関係者の方々には厚く御礼申し上げ、早慶定期戦の更なる発展をお祈り申し上げます。

早稲田大学 人間科学部 平成14年卒

車 浩 明

早稲田と慶応が一年に一度会するこの伝統ある早慶バドミントン定期戦が、今年もまた無事例年通り開催されることを嬉しく思うとともに名勝負が展開されることを非常に期待しております。

早慶戦と違って最初に思い出されるのは、リーグ戦やインカレとは違ったその独特な雰囲気、盛り上がり、慶応の諸君と試合上での交流です。去年の最後に行われた主将同士のシングルスは特に今でも鮮明に思い出されます。もちろん勝利を目指して試合を行っていたわけですが、ただ「勝つこと」それだけではなく、他の試合で感じることできない「何か」が早慶戦の中にはあったと思うのです。また、レギュラーとレギュラーでないものと一緒に団体戦を戦い、ともに勝利のために奮闘することによってチームにより一層の結束が生まれました。

この早慶戦は東日本インカレと秋季リーグ戦やインカレとの間に開催されて非常に慌しい中であったように思われます。早稲田・慶応両校の後輩諸君には実力を遺憾なく発揮し、また次につながるプレーを披露してもらいたいと思います。

そして、試合後の「酒」においてももちろん同様です。早慶の交流を深め、かつ互いに負けずに僕の方も十分に飲み合ってください。

最後になりましたが、今大会を運営なさる方々に感謝し、すばらしい大会になるよう御健闘をお祈り申し上げます。

WASEDA



KEIO

広告募集

辻 典 宏

今年もまた、伝統ある慶早バドミントン定期戦が無事開催されることを、心よりお喜び申し上げます。

私の4年間の慶早戦といえますと、3勝5敗と全く部の勝利に貢献することができませんでした。特に主将として参加した 昨年の大会では、チームとしても個人としても勝利を納めることができず、また単複ともに敗れるという非常にくやしい思いをしました。しかし、大学界を代表するようなプレーヤーを擁する早稲田大学の選手との熱戦を、慶応という看板を背負ってこのような大舞台で繰り広げることにより、多くのことを学び、バドミントンの実力の向上に大きな影響を与えてくれたのは事実です。勝つ喜び、負けるくやしさ、一打一打の羽の重みを、このときほど強く感じたことはなかつたかもしれません。

現役のみなさんには、日々の練習の成果を十分に発揮するのはもちろん、慶早戦の名勝負に残るすばらしい試合を期待します。また、よき伝統あるコート外での交流、世代を越えた交流も十分に深めてもらいたいと思います。

最後になりましたが、今大会を運営なさる方々に感謝し、すばらしい大会になるよう両校の選手に御健闘をお祈り申し上げます。



「歴史と伝統」!! 手作りの店
部員会に! 其の他のパーティーに!

山 食

慶応義塾三田キャンパス内
TEL 03(3453)5971

WASEDA

主将抱負

早稲田バドミントン部主将 三上紘由

今年も早慶バドミントン定期戦を迎えることになりました。本年で記念すべき50回を数えるこの歴史ある大会に主将として出場できることに最高の名誉を感じることも主将として我が部の勝利をもたさなければならぬという責任感を強く感じる次第であります。

さて、我が早稲田大学バドミントン部は、今年の春季リーグ戦では男子は1部4位、女子は1部5位と主将としてはまだ納得のいかない成績だと思っております。しかし、この春リーグの屈辱をバネに厳しい練習を積み、秋のシーズンに向けて体力的にも精神的にも技術的にも確実に進歩したものと確信しております。この伝統ある早慶戦において勝利を収め、さらなる目標に進んでいきたいと思っております。

慶応の諸君、お互いに日ごろの練習の成果を十分に発揮し、正々堂々と個々の納得のいくプレーして、この伝統ある早慶戦にふさわしい最高の試合をしようではないか。

させて 最後になりましたが、常日頃から応援激励してくださるOB・OGの皆様
に厚く御礼申し上げます。早稲田バドミントン定期戦が無事に開催されることを願
って、主将抱負とさせていただきます。

WASEDA  KEIO

世界にはばたけ!

がんばれ早稲田!



株式会社エスパ

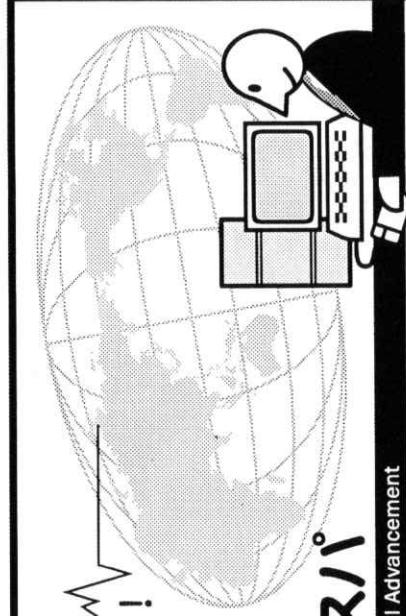
E-communications Supporting Professional Advancement

〒130-0026 東京都豊田区両国 3-21-16 両国中屋ビル 8F

TEL 03-5624-7231 FAX 03-5624-7232 URL: <http://www.e-space.ne.jp/espa/>

ナレッジポータル構築システム「InfoStep」URL: <http://www.infostep.net>

代表取締役 細村悦子
(S60年度卒)



今年も慶早バドミントン大会に主将として出場できることに最高の名誉を感じるとともにこの伝統のある大会に主将として出場できることに最高の名誉を感じるとともに、大きなやり甲斐で胸が一杯です。また、わが部に勝利をもたらさなければならぬという責任を強く感じる次第であります。

さて、我が慶應義塾バドミントン部は、部員確保と実力向上の両立という厳しい環境の中、部員一人一人がバドミントン部に全力を注いできました。

勝2部昇格を目標に部の総合力アップに全力を注いできました。

春リーグでは、男子3部4位、女子3部3位と非常に不甲斐ない結果に終わってしまいました。この悔しさをばねに森下監督のもと、秋リーグでの雪辱を誓い、部員一丸となって厳しい練習に身を投じてきました。この伝統ある慶早戦は、秋季リーグ戦、インカレへとつなげていく大事な一戦であります。実力の差は否めませんが、総合力と最後まであきらめない勝利への執着心で是非我が部に勝利を我が部にもたらしたいと思っております。

早稲田の諸君、お互いに日頃の練習の成果を十分に発揮し、正々堂々と個々の納得のいくプレアーをし、この伝統ある慶早戦にふさわしい最高の試合をしようではないか。最後になりましたが、毎年応援激励して頂く、OB・OGの皆様には厚く御礼申し上げます。第50回の記念すべき早慶バドミントン定期戦が無事開催されることを願って、主将抱負とさせていただきます。

KEIO VS WASEDA

スバゲッティ&ハンバーグ

レストランマリーニ



AM.10:00～PM.8:30

定休日 日曜・祝日

横浜市港北区日吉2-2-10

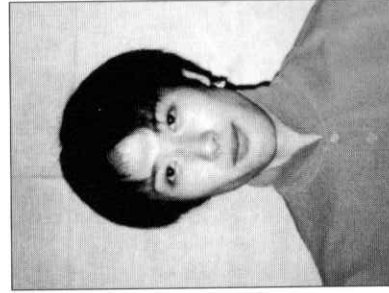
TEL045-563-9870

WASEDA



主将 三上 紘由
人科4 宮城県工業

頼れる主将!!!
彼のプレーはリカ
ーグでもインカ
レでも観客を魅
了させてくれる
ことだろう。



副将 梅本 修平
人科4 比叡山

常に部員のこと
を考えている副
主将。前衛の球
捌きは目を見張
るものがある。

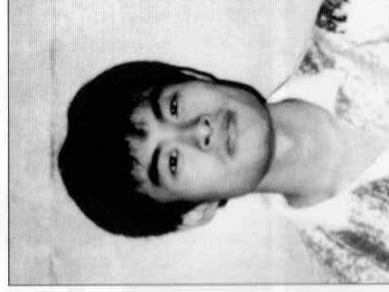


主務 晋一
加藤 政経4
都立三鷹



主務として早稲田を支える彼。陰の努力で鍛えられた体を活かしたプレーに注目！！

鈴木 裕介
理工4 大宮



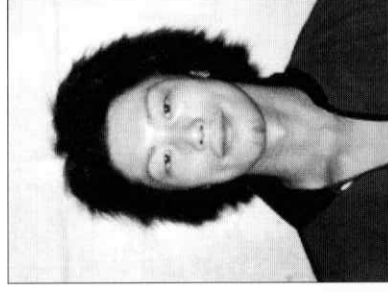
一般生実力NO1！！4年間の集大成を見せてくれることに期待したい。

副務 弘樹
高松 富山
法3



副務として忙しい日々を送っている彼。今年の早慶戦は彼の腕の見せ所だ。

稲垣 翔悟
人科3 比叡山



自他ともに認めるポイントゲッター。インカレ制覇は彼の手にかかっている

二宮 和敬
社字3
高松商業



最近何もかもうまく行き過ぎている彼！！この調子で狙えボスト青木！！

田辺 理絵
社字3
九州国際大付属



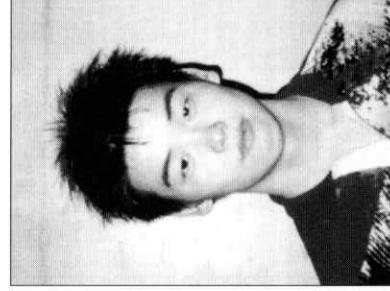
3年生キヤプテンとして女子部員をまとめている彼女。インカレではあの華麗なヘヤピンが炸裂するだろう。

榎野 貴行
人科2
常総学院



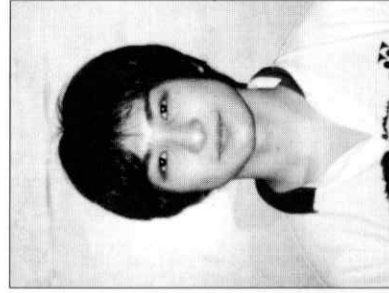
レギュラーに定着した彼。彼の早稲田優勝につながるだろう。

藤巻 光善
社学2 星陵



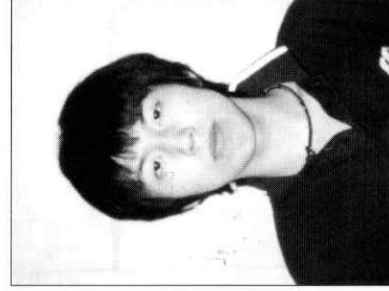
運動量は部内NO1!! その能力を生かしたプレーを見せてくれるだろう。

川合 光
教育2
国学院久我山



誰もが認める努力屋さん! サウスポーがうらやましい。

長戸 亮祐
政経2
高知学芸



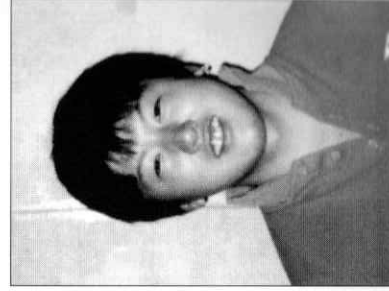
部内の雰囲気を盛り上げる彼!! リーグ戦でもみんなを盛り上げてくれるだろう。

橋本 明奈
人科2 埼玉栄



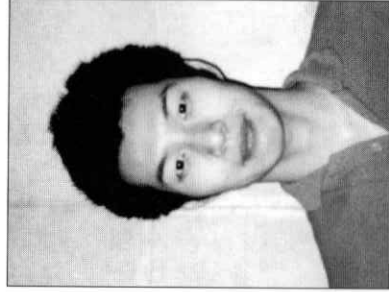
早稲田上位進出の力ギを握る彼女。力強いプレーには目を見張るものがある。

佐藤 孝一
社学1
関東第一



名門関東第一高校の元主将。期待通りの活躍をしてくれるだろう。

桂 秀典 八代東
社学1



超大型新人！角
度のあるスマッ
シユは脅威！

広岡 まり香
人科1 埼玉栄



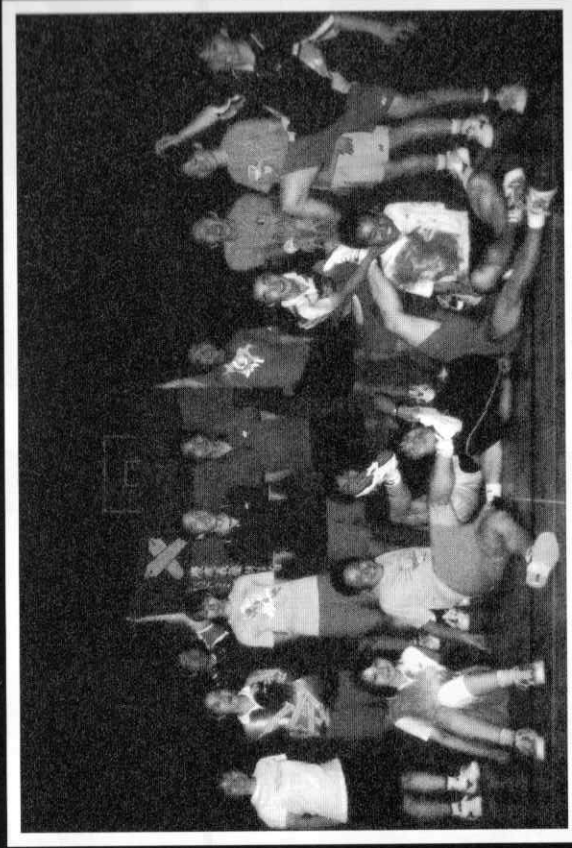
女子のルーキー
として、リーグ、
インカレと活躍
間違いない！！

高草木 裕子
社学1
桐生市立商業



女子唯一のサウ
スポー。左から
のスマッシュと
粘り強さが彼女
の売り。

KEIO



主将 田添 亮
環境4 長崎北

ふたまた川在住の彼。最近フットワークがさらさらになり早くなったらしい。

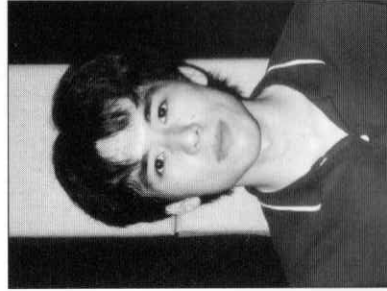


副将 脇森 浩志
理工4 桐蔭学園

all or nothingを座右の銘とする彼は、長身を生かしたプレーで急成長中。



星合 崇秀
環境4 東海



抜群の身体能力と持ち前の練習熱心さで急成長の彼。真面目な絵を描いたよな男である。

主務 永島 由紀子
政4 三輪田学園



4年生として、敏腕主務として、彼女はいつも教科書片手に日吉で奮闘中。

紅山 麻子
文4 American Community School



彼女のかけ声により、部員たちは奮い立ち、ガンバったり、ジャンプしたり、シャトルを奥まで返したりする。

朽見 太朗
文3 海城



勝利の雄叫び、咆哮、奇声、そして無造作へア。さあ皆様と一緒に「Gets!」

落合 惇
商3 桐蔭学園



練習はフル出席。もちろん授業もフル出席?。品行方正?!!という言葉は彼のためにあるのだろう。

渡邊 渉
商3 県立浜田



「おうワイや、渡邊様や。ワイの事悪く書いたらシバいたるかな。わかってるんだろうなあ、田中!!!」



佐倉 千絵
理3 市立千葉

部内筋肉番付
(含男子)で3
連覇中の彼女。
パワーあふれる
プレーを見せて
くれるだろう。



野村 由貴子
環境3
精華女子

不動の女王とし
て部に君臨する
彼女。その存在
感は日に日に増
大している。



田中 仁
経2 巣鴨

「Gary」の愛称
で親しまれる細
彼。一見線は細
いが、パワーも
ついてきて、実
は太かったりす
る。



松下 光旗
理2 長崎東

昨年の雪辱を胸
に一年間努力し
てきた彼。スピ
ードには自信が
あるらしい。



吉岡 達循
環2 渋谷幕張

日吉、三田、藤
沢の多忙な生活
三重生活を見事
にこなす彼。努
力家という言葉
は彼のためにあ
る。



坂根 洋介
法1 公文国際

攻撃的なプレー
が持ち味のウル
フ坂根。実は
「送り狼」の名
をほしめている。

森 祥広
商1 半田



期待の一年生として言動・行動ともに期待以上の成果を上げています。彼でも上級に当たるのはやさしい。

今井 愛子
文1 白百合学園



大学からバドミントンを始めました。彼女。いつか優雅で気品のあるプレーを見せられるだろう。

本出 奈月
環1 金沢向陽



AO生として色々と頑張っている彼女。再来年には新女王として部に君臨する予定である。(未定)

MEMBER

慶應義塾高等学校メンバー



部長	藤 一	出身中学	法政大学第二	学年	3年
副部長	宇佐美 瑛		平戸中学校		3年
主将	大富部 林		平戸中学校		3年
副主将	三 六		慶應義塾普通部		3年
副部長	須 石		慶應義塾普通部		3年
部員	田 浦		慶應義塾中等部		3年
	松 正		慶應義塾普通部		3年
	健 仁				
	維 俊				
	雄 哲				
	裕 也				
	佳 正				

岩崎良彦

昨年の熱き激戦から早くも一年が経とうとしています。今年で第50回目となる伝統ある早慶バドミントン定期戦を迎えることになりました。この伝統ある大会に参加できることを部員一同、大変うれしく、また誇りに思います。

昨年は二連覇を目標として先輩方が臨んだ大会は見事目標を達成し、勝利を収めることが出来ました。この一年間、さらなる飛躍のため、目標は違っても、部員ひとりひとりが高い志を持って、日々の練習をしてきました。合宿ではOBに御指導をしていただき、どの部員もレベルアップができたことを確信しております。

公式戦では、個人、団体ともに納得のいく結果を出せず、強豪との力の差を痛感させられることがあり、悔しい思いをしましたが、その差は少しずつではあるにしても、縮まってきているものと思います。

そして、この早慶戦で我々々々三年生は引退を迎えます。後輩たちの今後の目標の助けになるため、そして毎日の練習の成果を発揮し、悔いの残さないために、素晴らしい試合をし、勝利で高校でのバドミントン生活に有終の美を飾りたいと思います。

最後になりましたが、塾高バドミントン部のみなさん、互いに日頃の練習の成果を十分に発揮し、思い出に残るような、素晴らしい試合をしましょう。

WASEDA

主将抱負

KEIO

大富部 瑛仁

昨年の熱戦から早くも一年が経ち、今年も慶早バドミントン定期戦を迎える季節になりました。今年で記念すべき50回目を迎える、この伝統ある大会に参加できることを、部員一同、喜ばしくまた誇りに思います。

昨年、我々は1対4と惨敗し、二年連続で勝利を早稲田に渡してしまい、大変悔しい思いをしました。この一年間は、慶應に再び勝利をもたらすことを目標に、さらに洗練されたプレーを目指すため、日々の練習や合宿に高い意識をもって臨んできました。

公式戦では、あと一歩のところまで終わってしまい、決して満足のできる結果は残すことが出来ませんでした。しかし、部員全員の力が一歩一歩確実に伸びていることを感じました。

そして、この慶早戦で引退を迎える我々三年生にとっては、公式戦での悔しさを晴らし、また日々の練習や合宿で培った成果を出しきり、勝利で高校三年間のバドミントン生活に有終の美を飾りたいと思います。

最後に、学院の皆さん、お互いにこれまでの成果を十分に発揮し、三年間の締めくくりにあつさわしいこの慶早戦が、高校でのバドミントン生活の一番の思い出になるよう、素晴らしい熱戦を繰り広げましょう。